

令和元（2019）年 12 月 20 日

独立行政法人 都市再生機構
イケア・ジャパン株式会社

「イケアとURに住もう。」に新プランが登場

～ご好評につき、埼玉・福岡にて3プランが新登場！～

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）とイケア・ジャパン株式会社（イケア）は、全国で実施している「イケアとURに住もう。」の令和元年度新プランが決定し、埼玉県・福岡県にて3団地3プラン計5戸を令和2年1月下旬から順次入居者募集を開始いたします。

新プランは、キッチンスペースに在るだけでワクワクするような遊び心のある北欧スタイルのキッチンを設置した住戸や、家具・小物・植物を3色以内でシンプルにまとめ、スタイリッシュでありながら、リラックスできる空間を演出した住戸などが登場しました。

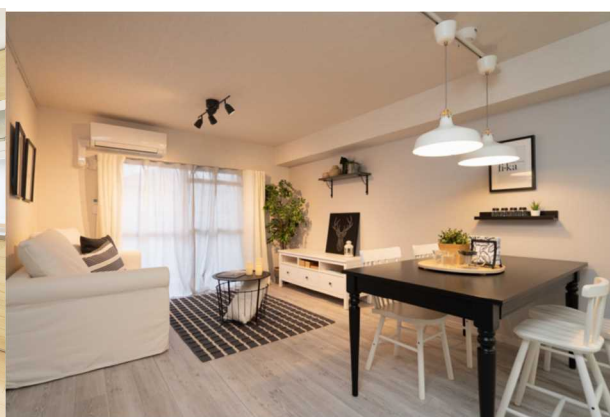
今後も、UR都市機構とイケアはサステナブル・リビング「気軽に変化を楽しむ暮らし」をコンセプトに住戸の提案を行ってまいりますので、ご期待ください。

【モデルルーム 記者内覧のご案内】

「イケアとURに住もう。」の新プラン住戸のご取材をご希望される場合は、随時受け付けておりますので、UR都市機構までお問い合わせください。ご多忙の折とは存じますが、何卒ご取材賜りますようお願い申し上げます。



三郷早稲田パークハイツ（埼玉県三郷市）



春日公園（福岡県春日市）

【本件に関するお問い合わせ先】

●UR都市機構

広報室広報課 担当 橘・輿水

（電話）045-650-0887

住宅経営部営業推進課 担当 加藤・中張

（電話）045-650-0626

●イケア・ジャパン株式会社PRチーム

（メール）ikeajapanpr@ingka.com

1. 今回新規募集する団地・プラン（3団地3プラン）のリデザイン住宅

	団地	所在地	型式	床面積 戸数	特徴
埼玉	三郷早稲田 パークハイ ツ	埼玉県三 郷市早稲 田7	3LDK	98.30 m ² 1戸	 <p>【スカンジナビアンモダンスタイル】 落ち着いたきとゆとりのある清潔感あふれるコー ディネートが一番の特徴です。淡い色が多く使われ ており、ゆったりとくつろげます。</p>
	みさと	埼玉県三 郷市彦成 3ほか	4LDK	83.24 m ² 1戸	<p>【ポピュラーモダンスタイル】 壁紙やキッチンの面材にグリーンやベージュをア クセントに取り入れ、ナチュラルで落ち着いた雰 囲気に仕上げました。 ※家具のないお部屋のご案内となります。</p>
九州	春日公園	春日市春 日公園 1 丁目ほか	3LDK	72.98 m ² 3戸	 <p>【スカンジナビアントラディショナルスタイル】 カラーをモノトーンに統一することで、重厚感の 中にスタイリッシュな雰囲気を醸し出していま す。</p>

※募集住戸には、調度品等家具小物は、含まれません。

2 住戸募集スケジュール

	団地名 (所在) (管理開始年度)	住戸募集期間 抽選日	募集予定 戸数	型式
首都圏	三郷早稲田パークハイツ (埼玉県三郷市)	1月31日(金)～ 先着順	1戸	3LDK
	みさと (埼玉県三郷市)	1月31日(金)～ 先着順	1戸	4LDK
九州	春日公園 (福岡県春日市)	2月15日(土)～ 先着順	3戸	3LDK

※募集スケジュールや受付方法等の詳細は、UR都市機構「イケアとURに住もう。」サイトをご確認ください。 https://www.ur-net.go.jp/chintai/ur_ikea/

「イケアとURに住もう。」プロジェクトについて

1 プロジェクトのご紹介

豊富に取りそろえたホームファニッシング製品（家具からテキスタイルに至るインテリア全般）を通じて、世界中の家庭へ快適な暮らしの提案を続けてきたイケアと、住まいを通じて日本の家族の暮らしを見守り続けてきたUR都市機構が、お互いの活動に共通する「サステナビリティ」に着目し、お客様が賃貸住宅で、より環境に優しく、気軽に変化を楽しみながら、豊かに暮らし続けていただけることを目指した取り組みです。本取組は、今回の新団地を加えて、39団地で展開をしております。

暮らしのアイデアを提案するイケアと、長く住みたくなる空間を提案するUR都市機構が、環境に優しく、季節やライフステージの変化を楽しみながら、豊かに暮らし続けられる「サステナブル・リビング」を提案します。

◆「イケアとURに住もう。」サイト

https://www.ur-net.go.jp/chintai/ur_ikea/

2 本取り組みのコンセプト「サステナブル・リビング」

グローバルに企業活動を行うイケアが今、強く意識しているのが「サステナビリティ（持続可能性）」。「People & Planet Positive」（ピープル・アンド・プラネット・ポジティブ）のコンセプトのもと、「よりサステナブルな暮らしを提供する」、「エネルギーと資源に依存しない」、そして「地域社会により快適な暮らしを提供する」の3つの分野を中心に、環境と社会にポジティブな影響を与えたいと考えています。今回の「サステナブル・リビング」でUR賃貸住宅に導入されたキッチンや商品においても、再生可能素材をできるだけ使い、家庭で省エネや節水、ゴミの削減やリサイクルを簡単に、しかもお手ごろに実践できるように考えられています。また、その供給過程においてもサプライヤーが環境に与える影響を最低限に抑制する方針が採られています。

一方、UR都市機構は、全国約1,500団地、約72万戸の豊富なバリエーションと豊かな屋外環境を誇るUR賃貸住宅で、ライフスタイルの多様化に対応するため既存の住宅に新しい価値を付加するリノベーションや、団地を再生する各種事業等により既存ストックの有効活用を推進しているほか、家族構成の変化等によるUR賃貸住宅内の住み替えや親族同士の近居等をサポートし、賃貸住宅でありながら、ライフスタイル、ライフステージの変化により住み替えが必要となる場合でも、生活環境やコミュニティが持続できるよう取り組んでいます。

人々の暮らしに深く関わってきた両社が、お互いの活動に共通する「サステナビリティ」の視点、つまり「お客様に負担をかけずお客様の生活をより豊かにする」、「環境やお客様のコミュニティを大切にする」という点に注目したのが今回の「サステナブル・リビング（持続可能な暮らし）」です。

以上